

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)

大磯西部地区

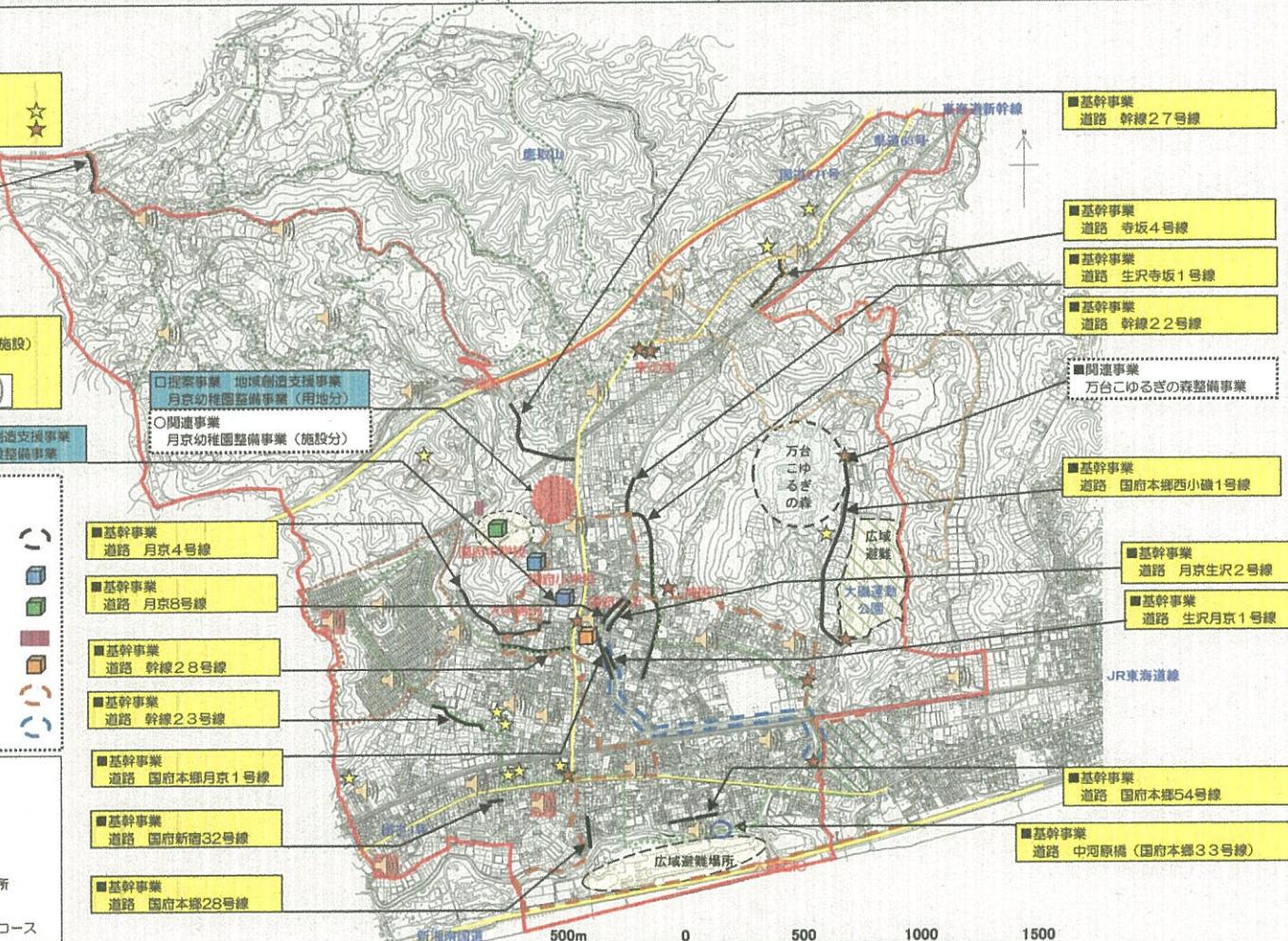
平成24年10月

神奈川県大磯町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県	市町村名	大磯町	地区名	大磯西部地区			面積	755ha		
交付期間	平成19年度～23年度	事後評価実施時期	平成24年度	交付対象事業費	992百万円	国費率	0.403				
		事業名									
		当初計画に位置づけ、実施した事業 基幹事業 提案事業	町道整備事業(15路線)、地域生活基盤施設(万台こゆるぎの森、文化財情報板・観光案内サイン、防災行政無線)								
			地域創造支援事業(国府学童保育施設整備事業、月京幼稚園整備事業(用地分))								
1)事業の実施状況	当初計画から削除した事業 基幹事業 提案事業	事業名				削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		道路事業(町道国府本郷60号線)、地域生活基盤施設(万台こゆるぎの森)				町道国府本郷60号線:事業実施困難となり、事業を削除 万台こゆるぎの森:民間事業者が事業を実施するため関連事業に移行		町道国府本郷60号線:指標に関係するが、数値への影響は小さいため、目標及び指標は据え置く 万台こゆるぎの森:関連事業に移行したが予定通り整備するため、目標及び指標は据え置く			
		—				—		—			
	新たに追加した事業 基幹事業 提案事業	道路事業(町道国府本郷月京1号線、町道月京生沢2号線、町道月京8号線)				町道国府本郷月京1号線、町道月京生沢2号線、町道月京8号線:県の河川改修により、生活道路の整備が可能となり、事業を追加		町道国府本郷月京1号線、町道月京生沢2号線、町道月京8号線:指標に関係するが、数値への影響は小さいため、目標及び指標は据え置く			
		—				—		—			
	交付期間の変更 当 初 変 更	平成19年度～23年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				—				
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標	従前値 基準年度 単位	目標値 目標年度 モニタリング	数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定期	
	指標1	万台こゆるぎの森利用者数	人/年 H17	6,000 H23	—	22,525 ○	ありなし	民間事業者による総合学習、体験学習、公開講座やイベント等により、利用者は大幅に増加した。			
	指標2	大磯西部地区の人口減少率	% -0.5 H17	0 H23	—	1.9 ○	ありなし	道路や下水道、防災施設など都市基盤整備による住環境の向上が図られ、地区内の人口増加に繋がった。			
	指標3	生活環境に対する満足度	% 20.4 H15	25.0 H23	—	20.5 △	ありなし	道路の整備状況や地震に対する安全性、道路・交通の安全性について満足度が低いが、都市基盤整備は進んでおり、生活環境は改善されつつある。		平成25年5月	
	指標4	—	—	—	—	—	ありなし	●			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標	従前値 基準年度 単位	目標値 目標年度 モニタリング	数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定期	
	その他の数値指標1					—	—	—			
	その他の数値指標2					—	—	—			
	その他の数値指標3					—	—	—			
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線の整備により、災害時における迅速な情報伝達の手段が確保でき、住民等の安全性が高まった。 生活道路の整備によって歩道が確保され、通学路の安全・安心の向上に繋がった。 通行に支障を及ぼしていた舗装・道路付属物の整備や、未舗装道路を整備したことにより、歩行者や自動車が安全・快適に通行できるようになり、住環境の向上に繋がった。 										
5)実施過程の評価		実施内容			実施状況		今後の対応方針等				
	モニタリング	情勢変化や住民ニーズに対応するため、事業担当課と主管課による事業間の調整を実施。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		●	円滑な事業の進捗を図るための体制を検討する。			
	住民参加プロセス	住民との協働により万台こゆるぎの森基本計画を策定し、その計画に基づき、住民が憩い、遊び、学び、交流が図れる場となる事業を民間事業者により実施。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		●	万台こゆるぎの森について、今後も民間事業者・町民・町との間で情報を共有していく。			
	持続的なまちづくり体制の構築	防災、防犯、美化活動や、地域資源を活かしたまちづくり活動など、住民主体によるボランティア活動などを実施。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		●	協働や参画によるまちづくり活動に取組む住民・団体への支援。			

様式2-2 地区の概要

大磯西部地区(神奈川県大磯町) まちづくり交付金の成果概要					
まちづくりの目標	目標を量化する指標	從前値	目標値	評価値	
大目標 国府の魅力を継承・創出し、誰もが住みたい・住み続けたいまち 目標1 地域の資源や特性を生かし、魅力に富む交流空間の形成 目標2 子どもから高齢者までが安全・安心・快適に暮らせる住環境の向上	万台こゆるぎの森利用者数 (人) 大磯西部地区の人口増減率 (%) 生活環境に対する満足度 (%)	3,000 (人) -0.5 (%) 20.4 (%)	6,000 H23 0 H23 25.0 H23	22,525 H23 1.9 H23 20.5 H24	
					
まちの課題の変化	<p>・文化財情報板、観光案内サインの設置によって地域資源への関心が高められ、地域の活性化、利便性の向上に繋がった。</p> <p>・万台こゆるぎの森の民間事業者活用により、自然環境の保全や様々な学習・イベント等が実施されるなど、良好な自然を維持し、活用された。</p> <p>・生活道路や下水道、防災行政無線の整備や施設の耐震化が図られ、また景観計画が策定されるなど、都市基盤整備や良好な景観形成による住環境の向上が図られた。</p>				
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<p>・地域資源を活かしたまちづくりを推進するため、協働・参画によるまちづくり活動に取組む住民、団体を支援していく。</p> <p>・花、緑の維持や、景観に寄与する活動を行う住民と積極的に連携し、良好な住環境を創出する。</p> <p>・災害による被害の予防・軽減や地域住民の共助の推進のため、町内会や自主防災組織と連携して、災害時における住民等の安全・安心の確保を図る。</p> <p>・生活道路の整備は進んではいるが、アンケート調査での住民満足度は低い。改善が必要な道路が残されており、都市基盤整備の充実や災害時に安全に避難できるよう、引き続き道路の整備が必要。</p>				